

○関東・中部地方の地震活動

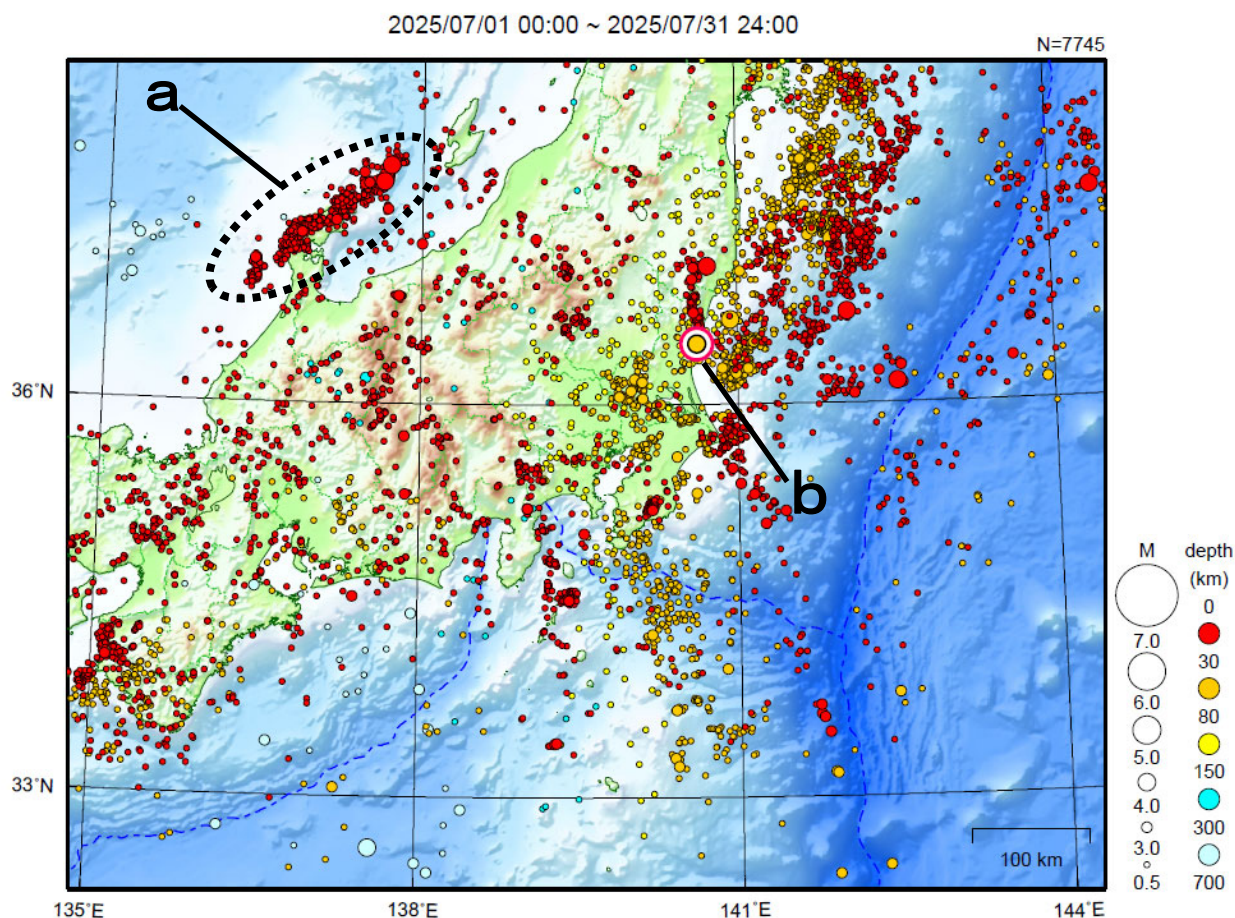


図7 関東・中部地方の震央分布図（2025年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

【概況】

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は53回（6月は54回）であった。

7月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、7月中に震度1以上を観測した地震が6回（震度1：6回）発生した。このうち最大規模の地震は、1日18時46分に新潟県上越沖の深さ18kmで発生したM4.2の地震で、石川県及び新潟県で震度1を観測した（p.10、11参照）。
- b 15日23時47分に茨城県北部の深さ56kmでM4.9の地震が発生した。この地震により茨城県笠間市及び栃木県市貝町で震度4を観測したほか、関東甲信地方、東北南部、静岡県及び新潟県で震度3～1を観測した（p.4、12参照）。

（図の範囲外）

30日08時24分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖でMw8.8の地震（Mwは気象庁による）が発生した。この地震により、岩手県の久慈港^{（注）}で141cmなど、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した（p.71～84参照）。

関東・中部地方では、茨城県の神栖市鹿島港^{（注）}で81cm、東京都の八重根で1.0mなど、茨城県から三重県及び、伊豆諸島から小笠原諸島にかけて津波を観測した。

（注）国土交通省港湾局の観測施設